

平成30年度 北海道小学校長会
第5回理事研修会 2019.02.22
第62回道小教育研究胆振・苫小牧大会
進捗状況について



全道各地区校長会の皆様には、既に本研究大会に向け様々なご協力をいただいております、心より感謝申し上げます。特に、本間会長をはじめ道小事務局や研修部の皆様には、円滑な大会運営に向け多くのご助言とご協力をいただいていることに心よりお礼申し上げます。

お手もとに配付した本大会の第一次案内をご確認いただきながら、運営の進捗状況を報告する。

現在、胆振管内校長会の小学校長を基本に12名で実行委員会を組織し、大会の準備を進めている。昨年12月19日の第4回理事研修会以降の取組をかいつまんで報告する。

平成31年1月29日には、道小本間会長、大石事務局長に胆振にお越しいただき、室蘭市において胆振教育局長、開催地の苫小牧市において苫小牧市長、教育長への表敬訪問ののち、駆け足で全体会場、8施設13分科会場の視察をしていただいた。

会員の皆様への第一次案内の配付については、2月22日、本日付で各地区校長会の事務局長宛に、第一次案内を会員数+2で郵送させていただいた。各地区に戻りましたら確認していただき、各地区の各会員への配付をお願いします。

実行委員会各部の取組についてである。

事務局では、今後第二次案内の作成作業に入っている。道小幹部の皆様にご確認いただき、5月の道小総会において配付できるように準備を進めている。大会運営にかかわり様々な経費削減策にも取り組んでいる。その一環であるペーパーレスの取組として、個人申込書及び宿泊申込書も道小HPから取り込み、メールで業者に申し込んでいただく方法を予定している。

研修部では、大会要項の作成に取り組んでいる。また、記念講演の内容についても講師の安孫子氏との打ち合わせを進めている。

会場部では、各会場との連携が進んでいる。また、分科会で使用する機器については、PC等は苫小牧市教委より、プロジェクター・書画カメラ(実物投影機)についてはEPSONより機器を借用する。各分科会の研究発表者の方が使い慣れた自らのPCを持参することも予想される。今後、「PCを持参するのか」、「どのような記録媒体を使用するの」等を確認し、スムーズな発表をしていただけるように準備を進めていく。

庶務部での最大の懸案事項は、「お弁当」である。過去の開催地、小樽市や稚内市、そして函館市のように美味しい食べ物が豊富な苫小牧市では難しい。秀峰樽前山から湧き出た水を水源とした水道水が美味しいとの評判はあるが、「水」だけでは分科会での熱い協議に力を出すことは、難しい。過去の大会の美味しくて元気の出る「お弁当」に少しでも近づき、分科会での熱い協議の源になるようなお弁当の提供を目指している。「お弁当」は各分科会場で食べていただく。「お弁当」と同時にお渡しする飲料水については、苫小牧の美味しい水道水から塩素を取り除きボトル詰めし、苫小牧市の人気キャラクターである「とまチョップ」をラベルにした「とまチョップ水」を提供させていただく。ゆるキャラである「とまチョップ」に疲れた心を癒やしていただければ幸いである。

最後に「胆振・苫小牧大会」は、全体会場から各分科会会場までは、徒歩 15 分圏内であるので、シャトルバスの運行はない。実行委員会が、参加者の皆様に提供できる駐車場は、全体会場である苫小牧市民会館の約 150 台程度である。苫小牧駅より全体会場までも徒歩 15 分程度である。参加される皆様には、公共の交通機関又は、乗り合わせの上、参加していただければ幸いである。また、貸し切りバスで参加される地区又は市町校長会もあると思う。限られた駐車スペースであるので、貸し切りバスの駐車はご遠慮願う。

平成 31 年 4 月 11 日に、実行委員会全体会を開催し、人事異動の結果をふまえ、調整した新たな実行委員会の組織体制と業務分担を確認し、本格的な準備を進めて参る。新たな組織体制は胆振管内校長会の小学校長を基本とした 75 名で組織する。

美味しい食べ物の少ない苫小牧市であるが、温かい「おもてなし」と、内容の充実を目指し、実行委員会一同総力を挙げて準備を進めている。皆様の参加をお願いし、報告とさせていただきます。

よろしく願います。